香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	情報処理Ⅲ	
科目基礎情報						
科目番号	2025		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	通信ネットワーク工学科 (2018年度以前入学者)	対象学年	4			
開設期	通年	週時間数	2			
教科書/教材	富永和人・権藤克彦 著 「例解UNIX/Linuxプログラミング教室」 オーム社 / プリント					
担当教員	桑川 一也					
到達目標						
1. システムプログラミングの位置づけを説明できる。 2. ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 3. プロセスについて理解し、プログラムを作成できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	システムプログラミングの位置づけを説明できる。	システムプログラミングの位置づけを理解している。	システムプログラミングの位置づけを理解していない。			
評価項目2	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。	ファイル入出力について理解している。	ファイル入出力について理解していない。			
評価項目3	プロセスについて理解し、プログラムを作成できる。	プロセスについて理解している。	プロセスについて理解していない。			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	UNIXオペレーティングシステムのカーネルが提供する主要機能であるプロセス管理、ファイルシステムについて、C言語によるプログラミング演習を通じて実感しながら学習する。どのシステムコールを使えばどのようにカーネルの機能を利用できるのかを学ぶことを目標とする。					
授業の進め方・方法	各学習項目の学習内容を解説し、関連するシステムコールとそれを利用したプログラム例を説明した後、教科書の演習問題のプログラムを入力し実行する。					
注意点	オフィスアワー：毎月曜日放課後～17:00					
授業計画						
	週	授業内容	週ごとの到達目標			
前期	1stQ	1週	UNIXコマンド	UNIXの基本的なコマンドを知る。 D2:1		
		2週	シェル	UNIXの基本的なコマンドを知る。 D2:1		
		3週	簡単なスクリプトプログラミング	UNIXの基本的なコマンドを知る。 D2:1		
		4週	システムプログラミング	システムプログラミングの位置づけを説明できる。 D2:3		
		5週	C言語の復習(1)	C言語を用いてプログラムを作成することができる。 D2:2		
		6週	C言語の復習(2)	C言語を用いてプログラムを作成することができる。 D2:2		
		7週	C言語の復習(3)	C言語を用いてプログラムを作成することができる。 D2:2		
		8週	C言語の復習(4)	C言語を用いてプログラムを作成することができる。 D2:2		
	2ndQ	9週	前期中間試験			
		10週	試験問題の解答、C言語の復習(5)	C言語を用いてプログラムを作成することができる。 D2:2		
		11週	C言語の復習(6)	C言語を用いてプログラムを作成することができる。 D2:2		
		12週	低水準入力(1)	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		13週	低水準入力(2)	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		14週	低水準入力(3)	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		15週	低水準入力(4)	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		16週	試験問題の解答			
後期	3rdQ	1週	標準入出力ライブラリ(1)	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		2週	標準入出力ライブラリ(2)	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		3週	標準入出力ライブラリ(3)	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		4週	標準入出力ライブラリ(4)	ファイル入出力について理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		5週	プロセス(1)	プロセスについて理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		6週	プロセス(2)	プロセスについて理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		
		7週	プロセス(3)	プロセスについて理解し、プログラムを作成できる。 D2:2		

4thQ	8週	プロセス(4)	プロセスについて理解し、プログラムを作成できる。D2:2
	9週	後期中間試験	
	10週	後期中間試験の解答、ファイルシステム(1)	ファイルシステムについて理解し、プログラムを作成できる。D2:2
	11週	ファイルシステム(2)	ファイルシステムについて理解し、プログラムを作成できる。D2:2
	12週	ファイルシステム(3)	ファイルシステムについて理解し、プログラムを作成できる。D2:2
	13週	ファイルシステム(4)	ファイルシステムについて理解し、プログラムを作成できる。D2:2
	14週	ソケット通信(1)	ソケットを用いたプロセス間通信について理解し、プログラムを作成できる。D2:2
	15週	ソケット通信(2)	ソケットを用いたプロセス間通信について理解し、プログラムを作成できる。D2:2
	16週	試験問題の解答	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	20	0	100
基礎的能力	80	0	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0